

## 初等部 畑の発表会 「土と育つ子どもたち」

浅川 曜子

今年初等部は、勉強報告会と U6 ひろばの両方で発表をすることは物理的に無理なことから、「おさなご発見 U6 ひろば」の日程に合わせることで、形式は勉強報告会と収穫感謝祭を合わせたようなものにする。内容は今までの勉強報告会よりもさらに児童の学びたいという気持ちを重んじ、より深い学びを目指すものとする。一昨年までの勉強報告会の形態は長い間の色々な変遷を経て形作られてきたものである。その良さも十分分かった上で、目の前の子どもたちに何が必要か、考え抜いた結果の選択である。よって、全員がステージに上がって覚えたことを話したり、表書きに時間を費やしたりするのではなく、発表をブースとステージに分け、ステージ発表をする者もブースで来場者に自分の言葉で説明する者もいるという形をとることとし、テーマは初等部の特徴ある学びの一つである「畑」を全校共通で取り上げることにした。

### I. はじめに

初等部の児童は、畑だけでなく地面や地面から生えている草や樹木、生息する生き物などの環境すべてと関わりながら学習したり遊んだりすることで、自然との関わり方や自然への感覚を育てることから、「土と育つ子どもたち」というタイトルに決まった。

1・2年生の発表は「表現」を主たる目的とし、3・4・5・6年は、自分たちが栽培した作物を中心に、そこから学びを広げることに取り組んだ。

### II. 教師研修

児童が自ら気づき興味を持って学びを広げていくには、そこへ至るまでの教師の膨大な「たねまき」が必要であり、それこそ教師の力が試されるものである。そのため、教師研修と教師の共有を行ってきた。

- ① 4月4日 講師 辻村透先生「畑作業の教育的意義について」全員参加
- ② 7月25・26日 シュタイナー学校「農から考える子どもの教育」全員参加
- ③ 9月2日 テラコヤ・エディブルスクールヤード実践発表会 2名参加
- ④ 9月22日 きのくに子どもの村学園南アールプス子どもの村小学校見学 8名参加
- ⑤ 9月25日 秋田農園見学 3名参加  
東京学芸大学大学院教授 成田喜一郎先

生にご指導頂いたほか、大地の会 吉田俊道氏、秋田貞夫氏にもご助言いただいた。

教師会においては月1回、内容の検討および進捗状況の共有を行ってきた。

⑥ 理科・総合で行っている畑作業のこよみと教科との結びつきを1枚の表にまとめ、当日配布パンフレットに掲載した。

### III. その他の活動

(夏休み) 8月5日「畑の草取りの日」を設けた。  
8:00~11:00頃 ボランティアの親子13名と当番6名、教師4名で田んぼと畑の回りの草取り、サトイモ畑の草取りとマルチング、サツマイモ畑の草取りとツルあげの作業を行った。

### IV. 希望者を募って進めた学習・活動

- (1) 前日まで  
休み時間や家での時間を使って準備。
  - ・看板作り 3年以上有志。初等部のことをより詳しく知っていただくために、いろいろな場所の説明看板を製作し設置した。
  - ・木工 6年有志。初等部入り口・小ホール入り口・体育館入り口に立てたモニュメントの木組みを製作。飾りは全学年の有志で作成。  
\*学部生：初等部のグリーンベルトに、学部生がプレイパーク(土山とロープを使ったアスレティック)を造設。1学期末から初等部生にアンケートをとって「どんな遊び場が欲しいか」聞いたり、子

も達と一緒に遊んだり意見を聞いて計画を進めて作った。

(2) 当日

- ・自分の学年の展示ブース（小ホール・体育館）の説明（1年生～6年生）
- ・校内各所での説明（ウコッケイ小屋・落葉プール・農具小屋・畑）（5年生・6年生）
- ・かぶの収穫体験・アサガオの種やどんぐりのプレゼント（おてがみ付き）（1年生）
- ・アンケート用紙の作成・配布（4年生）
- ・校内放送・発表会の司会（6年生）
- ・学部農芸グループ主催の白菜・ねぎの収穫体験のお手伝い（4年生）

(3) 3年教室 展示とワークショップ

- ・みんなの畑（部長と希望者）で作物を育てる。（スイカ・きゅうり・ミニトマト・ピーマン・ブロッコリー・カリフラワー・メキャベツ等）
- ・畑をテーマにした合唱曲調べ（6年生）
- ・堆肥の中の生き物について展示・土壌動物の顕微鏡による観察（3年生～6年生）
- ・カブトムシの幼虫展示
- ・音で、同じ種あてゲーム。
- ・落葉と木の実でお弁当作り。
- ・食べ物の栄養素による分類（5年生）
- ・初等部で見られる冬鳥の記録

(4) 保護者ボランティアによる活動

- ・落葉プール作り
- ・展示パネルの組み立て
- ・会場のじゅうたん敷き
- ・芋の子汁調理
- ・芋の子汁サービス 等々

(5) 日々の生活と学びの映像「土と育つ子どもたち」30分 やしほ映画社 瀬瀬あや氏（自由学園理事 女子部 73 回生）に制作を依頼し上映した。

V. 発表会を終えて

(1) 児童にとってどうだったか

- ・「畑」という共通テーマがあったのは良かった。
- ・児童が「知りたい、調べたい」ことに取り組んだので、児童の主体的な学びという視点からみると学習に勢いがあった。
- ・子どもがやりたいと思って実現したことがたくさんあった。例：1年生から来場者へのプレゼン

- ト、2年生の劇、紙芝居、3年生芋のつるを使った工作、4年生の実験・ダンス、5年生の劇、5・6年生の多方面にわたるさまざまな調べ学習 等。
- ・子どもたちが楽しんで学習に取り組んでいた。モチベーションをもって取り組めた。

(2) 教師としての反省 振り返り

- ・致し方ないことだが、発表の最終形を頭に描いて進めることができなかった。
- ・すべての子どもに達成感を持たせることができたか。やる気のある子どもは忙しそうにいろいろなことに携わってチャレンジしていた一方で、暇そうにしている子どもはいなかったか。
- ・ステージ発表とブースを合わせたものが一つの発表だということを理解して頂くのが難しい面もあった。
- ・毎日畑に行って観察し、多くの気付きがあり、教師も初めて知ることがあった。
- ・今までは保護者対象の会だったが、今回はU6に当てたことにより、知らない人が見て、初等部を知る機会としてよいところもあったのではないかな。
- ・地域の方々（東大農場・市内在住 秋田貞夫氏）にご指導ご助言等頂くことができた。
- ・瀬瀬あや監督による映像の力に助けられた。
- ・チャレンジしたことに意義がある。
- ・チャレンジの先に、これからの授業のあり方が変わっていく。

VI. 終わりに

勉強報告会の「初等部の教育を発表する」「発表することを通して児童の学習とする」「初等部から発信する」という目的と、発表する内容の根幹は変わっていない。本物から学ぶことを伝統的に大切にしてきた初等部の学びを今後も継続しつつ、さらに自主的に、意欲を持って学びに向かい、畏敬の念と共に学び続ける姿勢を自分のものにしていって欲しいと願っている。

初等部で行っている、土と関わりながら行う学びを、教師はさらに自覚して教科と結びつけ、授業を創っていく必要がある。

## 「発表の様子」

### 1年生「せかいで一ばん大せつなかぶ」



カブの成長を観察し、わかったことや気づいたことを絵を見せながら全員が発表しました。最後にみんなで創った詩「1年生のかぶ」の群読とその詩にメロディーをつけて歌いました。

### 3年生「とくべつなサツマイモ」



子どもちの考えや気持ちを大切に学習しました。発表の内容は、育ててきた事、まとめた事から、それぞれが考えました。前半と後半に分かれて、全員がステージに立ち、自分の考えを伝えようと発表できました。

### 5年生「稲物語」



4月から半年間、手間をかけて育ててきたお米は、1回のおもちつきで殆どいただけてしまいました。収穫量や機械化の重要性を実感し、それを劇で表現しました。

### 2年生「雨と太よう大こんとわたしたち」



ダイコンが育つ過程を、「言葉での説明」「4つの歌」「劇」で報告しました。歌は2年生がダイコンを観察して創作した詩をつないで作りました。劇は、種まきや畑の土の中、種の発芽や葉が増える様子を、体で表現しました。

### 4年生「里いもと楽しく学んだ4年生」



里芋の観察や栽培を通じた学びの様子を中心に、歴史・料理・栄養など子ども達が興味を持ったことについて、スライドを提示しながら発表をしました。また、報告文や構成も“小さい子ども向けに”と、全て自分達で考え工夫して行いました。

### 6年生「ジャガイモを通して学んだこと」



ジャガイモの栽培過程、歴史や毒性について学んだことに加えて、鎌研ぎの授業や箱根火山の学習を通じ、物事の良い面悪い面を意識するようになり、「良い友達との関係」も考えるようになったことを報告しました。

# 「展示の様子」

## 1年生



1学期は二十日大根と朝顔、2学期はかぶを育てました。当番が毎日つけたかぶの観察カード、皆で話し合った記録、スケッチ、詩などを展示しました。畑の前で行った「おおきなかぶ」の劇の様子はビデオで流しました。

## 2年生



2年生のかぶと、畑の発表会へ向けての学習を年表にまとめ、それぞれの過程で書いた詩やスケッチを展示しました。また、研究グループの2年生が作った新聞とクイズ、お話作りグループが創作した紙芝居も発表しました。

## 3年生



さつまいもを育てる中で感じた疑問をグループに分かれて調べ、まとめました。さらに、各自がサツマイモをテーマに作った新聞の他、サツマイモの張り子、つるで作ったリース、「いも」の習字を展示しました。

## 4年生



サトイモを育てる学習の様子やクイズ・種類などをポスターにまとめ、面白い形に各々がネーミングし並べた他、スケッチや発展学習を一冊にまとめた里芋図鑑、収穫物の実物などを展示しました。

## 5年生



日本の米の種類や自給率、米や米粉を使った料理、稲作の歴史、機械化、に分かれて、調理したり調べたりして楽しんでまとめました。手作りスタンプとお米クイズによるスタンプラリーも好評でした。

## 6年生



ジャガイモの歴史、花と実の付き方、6年生の育ててきたジャガイモの成長、日本と世界のジャガイモの産地、ジャガイモの毒、ジャガイモをモチーフにした銅版、でんぶん取りのレポートとでんぶん、陶芸の授業で作ったお皿を展示しました。



【収穫感謝の礼拝】

各学年が収穫した野菜やお米を並べます。収穫できたことに感謝をして、収穫までの様子や野菜の特徴などのお話を聞きました

【1・2年展示の小ホールの様子】



【種を配る1年生】



【説明をする子どもたち】



2年生



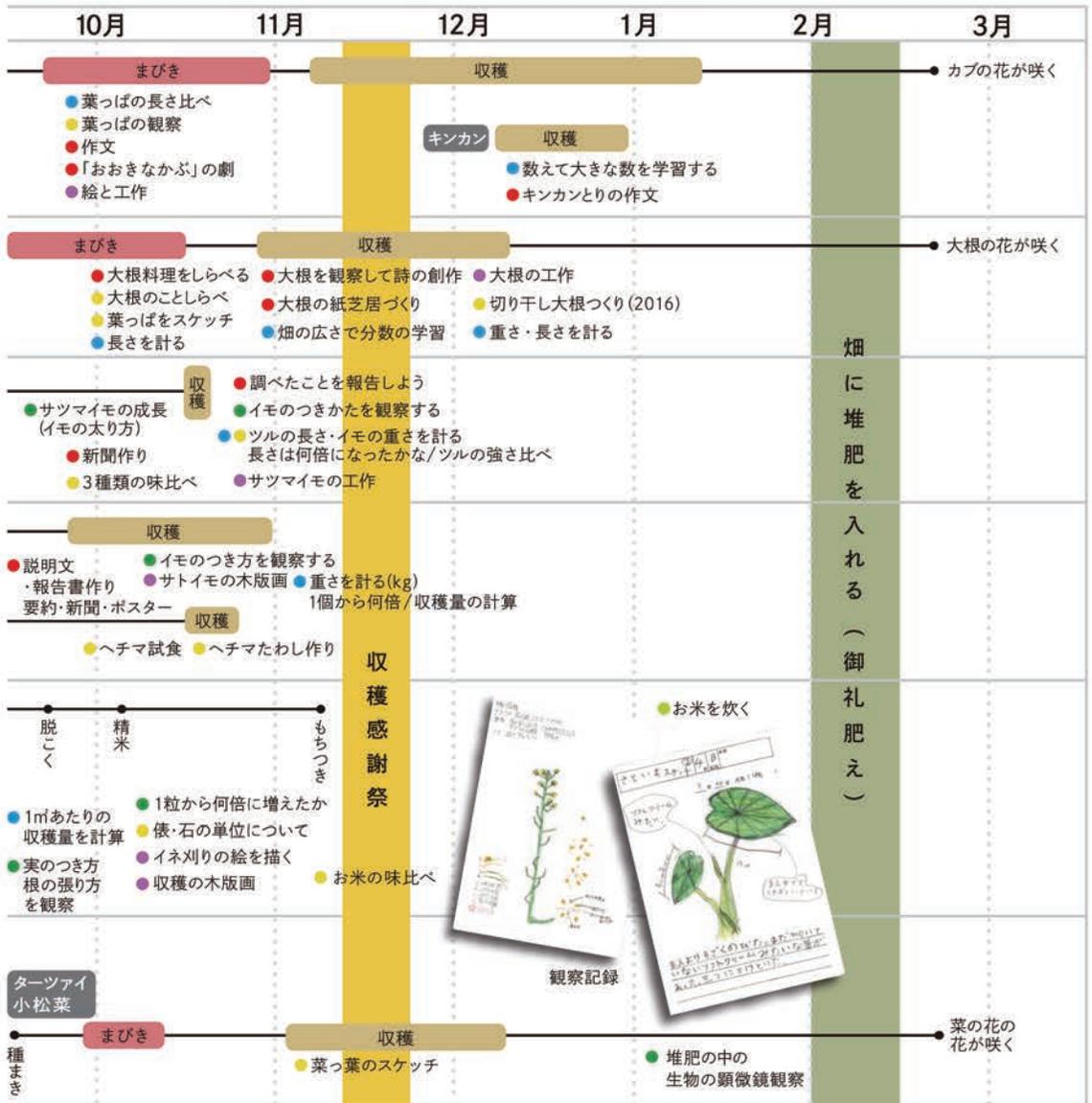
3年生



4年生



収穫したものは昼食の材料として使われ、父母の方々が調理してくださってみんなでいただきます。



● 国語 ● 数学 ● 理科 ● 社会 ● 美術 ● 家庭 ● 生活・総合

たいひ 堆肥

秋、落葉樹についていた葉は一枚のこらず落ちる。落ち葉を集めて積んで踏む。葉は、分解されてやがて土にかえる。動物のフンも加わると、すてきな堆肥の出来上がり。畑に堆肥を入れると来年の畑の栄養になる。

御礼肥え

収穫が終わった後の畑に「御礼」の意味をこめて肥料を入れること

飼育

3年ウサギ、4年小鳥、6年ウコッケイ、みんなの友だち、かわいい仲間。ウサギは野菜クズを食べる。ウコッケイは卵をたくさん産むのでお料理に使っていただく。

きせつ だより

理科の時間に初等部の庭を歩いて、季節の植物や虫をさがし、スケッチする。初等部のキャンパス全部が自然の教材となっている。